

# Smilink Camp 2016 報告書

## ～子どもたちの笑顔をつなぐプロジェクト～

2012年夏に開始した福島の子どもたちのための保養プロジェクト「Smilink Camp」も、8月11日に5年目の開催を無事に終えることができました。ご協力いただいた皆さまには、大変感謝申し上げます。また、行き届かぬ点が多々あったことを、この場を借りて、お詫び申し上げます。

さて、9月11日で東日本大震災から5年半が過ぎました。多くの被災を受けた東北3県では、仮設住宅から復興支援住宅への引っ越しが進みつつあり、メディアでは「復興」が伝えられることも増えてきた気もします。そんなとき4月におきた熊本地震。われわれが住む北九州も震度5.2度の大きな揺れと共に余震の恐怖さえ感じました。東日本大震災を受けて、「他人事」ではなく「自分事」として意識してきたはずの我々は、身近におきた地震に、やっと当事者として心が動き始めたようにも感じています。そんな時期に迎えた2016年夏。期間中には熊本県益城町のこどもたち14名を迎えてアースマイルキャンプを実施。福島と益城のそれぞれのこどもたちの間では、「おれのところはね・・・」という会話が何気なく飛び交っていました。

地震列島の日本。いつ起きるかわからない大災害に備えつつも、何かあったときに心を「そこ」に向けることができる・・・。そんな気持ちをかかわったすべてのみなさんの心に刻んでもらう。そんなきっかけが今回の事業で届けられたのなら、うれしく思っております。

これからの未来を創るのは、こどもたちです。ぜひ、これからも福島の今に目を向けながらも、こどもたちと共に、次の1歩をそれぞれに歩み出しましょう。どうぞ、よろしく願いいたします。

Smilink Project 実行委員会 一同

**開催日時** 平成28年8月5日（金）～11日（木）

**招待者** 福島県在住の小学生14名

（南相馬市：12名、福島市：2名）

	午前中	午後	夜
8/5	8:30 さくらホール集合→【マイクロバス】→10:50 福島駅集合 11:16 福島駅【やまびこ136号】→12:48 東京駅（乗換） 13:10 東京駅→【のぞみ35号】→17:55 小倉駅		ホームステイ先との顔合わせ 【ホームステイ】
8/6	「ホームステイ」・・・各家庭にて家族と同様の生活を過ごす。		
8/7	「ホームステイ」		「交流会」 【八幡西生涯学習センター】
8/8	「アースマイルキャンプ」（カヌー体験、アウトドア料理など）【テント泊】		
8/9	「アースマイルキャンプ」（海水浴、ウォークラリー、キャンプファイヤー）		
8/10	「アースマイルキャンプ」（グリーンパーク、ミニ運動会！）		振り返り 【玄海青年の家】
8/11	終了	10:46 小倉駅→【のぞみ22号】→15:38 東京駅 16:00 東京駅→【やまびこ145号】→17:32 福島駅 17:40 福島駅解散→【マイクロバス】→19:40 さくらホール解散	



## (1) ホームステイ【8月5日～8月7日】2泊3日

北九州市内またはその近郊の一般家庭へホームステイ。

協力家族は11家庭。一般公募にて決定。



## (2) 交流会【8月7日】

ホームステイのホストファミリーやアースマイルキャンプ参加者・家族、そして関係者と、参加者による交流会を実施。「八幡餃子」や「かしわめし」などの福岡ならではの食材と共に、健康に配慮した自然食材を使った料理を提供。ホームステイの顔合わせを行いながら交流を深めた。

場所：八幡西生涯学習センター 大会議室

< 協 賛 >

(株)コストコホールセールジャパン北九州店（飲料、お菓子など）



### (8) 交流キャンプ「アースマイルキャンプ」【8月8日～10日】2泊8日

自然いっぱいの玄海青年の家をベースキャンプ地とし、地球をまるごと体験するキャンプを開催。北九州の子ども15名、熊本県益城町の子ども14名と一緒に、総勢43名での2泊8日を過ごしました。期間中には、様々な自然体験を準備。カヌー体験、アウトドア料理、テント泊、海水浴、ウォークラリー、キャンプファイヤー、グリーンパークでのミニ運動会と、盛りだくさんの活動で交流を深めました！

場所：玄海青年の家

参加者：福島の子どもたち14名、北九州の小学生15名、益城町の子ども14名



## <運 営>

**主催**：Smilink Project 実行委員会

Smilink Project 実行委員会とは、北九州またはその近郊にて、子どもたちの自然体験・国際理解体験などを提供している有志にて被災地の子どもへの支援が何かできないかと設立。

代表	池本 綾女	ai Plannet 代表、(公財)北九州国際交流協会理事
実行委員長	原水 敦	Upple 代表、北九州まなびと ESD ステーション特任教員
事務局長	福田 百合加	エネシフ@北九州 副代表
	中西 享嗣	株式会社ニコウ 代表取締役
	高田 崇	つぼ心・An's
	西野 哲也	(株)溝口産業 統括部長
	平島 奈緒	おやこサロンカモミール 主宰
	松田 洋	八幡ぎょうざ協議会 理事
	松田 悠志	東京海上日動火災インシュアランスプランナー
	坂口 幸穂	Upple 副代表(九州女子大学)
アドバイザー	高藤 麗子	風和土(ふわっと)代表、土居自然学校

**共催**：北九州市、Upple

**協力**：NPO 法人 南相馬こどものつばさ、北九州まなびと ESD ステーション

## <2016年 ご支援、ご協力いただいた企業・団体>

- 公益社団法人 相双法人会
- 公益社団法人 八幡法人会
- 株式会社 コストコホールセールジャパン北九州店
- 株式会社 丸ふじ
- 子ども被災者支援基金
- NPO法人南相馬こどものつばさ
- 北九州まなびと ESD ステーション

その他、たくさんの個人のみなさまにも  
ご寄附いただいております。  
誠にありがとうございました。



今後も福島のごどもたちとの交流は継続いたします。  
皆さまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。